

TAKIZAWA VENEER
COMPANY PROFILE



滝澤ベニヤ株式会社 会社案内



企業理念

多品種少量生産による、高品質で高精度な製品づくりと
一歩先を見据えた、無駄のない資源の有効活用。

成業則正道の社是のもと創業以来、多品種少量生産に取り組んでいます。日本に古くから根付いている木の文化は木材の長所、短所を知り尽くした上で、上手に利用活用することではないでしょうか。

私たちは木一本一本をどのような用途に加工すればより付加価値が生まれるかまで考えなければ長い年月を掛けて成長してきた資源に申し訳ないという気持ちで生産・加工しております。

また出来上がった製品は、寸法は同じであっても木目、色調などこの世に2つとない代物です。このような木の持つ特徴などをPRし続けていく事も私たちの大事な使命であると考えております。木材を有効に利活用してもらい、木への理解を深めてもらい、木材の復権を図り、需要を喚起することを業界として取り組んでいこう、当社としても強力に押し奨めていく所存でございます。

代表挨拶

芦別市は約87,700haの面積を有し、その89%の78,000haは森林です。そしてその60%以上が天然林で広葉樹の宝庫として位置づけられていました。

当社はその裏山資源を背景に昭和11年よりこの地において創業を開始致しました。しかし昭和40年代以降の住宅着工数の激増による需要に対応するため、若い木まで伐採してしまい、結果として国内の需要に応えるためには外国産材を輸入するようになり、今日に至ってしまいました。

現在道内の需給バランスで供給が上回っているのは白樺、トド松、カラ松のみです。当社においても現在外国産材の原材料比率は60%を超えていますが、何とか蓄積量が増加していて主として紙の原料、梱包材等としてしか利用されない白樺、トド松、カラ松等も家具、建材、造作材として有効利用を図っていきたいと考えております。

そして私たちは誠心誠意皆様のニーズにお応えし、お役に立てる会社を目指して参りたいと思っておりますので今後とも従前に倍しましての御愛顧、御指導を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 瀧澤 貴弘

歴史はチカラに。 新しい価値への創造主。

環境保護が囁かれるこの時代に、
お客様のニーズに応えた
高品質な製品をお届けするとともに、
自然と暮らしが求める新しい資源価値を
創造することが私たちの使命です。
昭和11年創業以来永きにわたり培ってきた
信頼と実績をチカラに、
森を守り、暮らしを豊かに新しい価値への発信源。
そんな創造主であり続けたいと考えています。

暮らしが映える、森の呼吸。

求めるモノをカタチに。合単板、特殊物加工は滝澤ベニヤへ。

滝澤ベニヤでは昭和11年創業以来、成業則正道の社是の下、一貫して広葉樹・針葉樹合単板、特殊物の製造販売をしております。そして徹底した品質管理のもとで生産された当社の製品は皆様の暮らしのさまざまな場所で呼吸しています。



どんなものでも揃う、豊富な集材源

国有林(森林管理署)、道有林(森づくりセンター)、東京大学北海道演習林の立木公売、素材公売をはじめ民間取引にて立木及び素材を購入し、素材生産(造材)に関しては、高性能林業機械の導入、低コスト作業システムの導入により、低価格、高品質な原料の生産に全力を傾けています。

また自社工場の原料を目的に北海道内外の国産材、米材、ロシア材、欧州材のほか世界各地にて自社検品し、発注者の要望にあった原料を調達しています。



取扱品目

北海道材広葉樹

(シナ、ニレ、ナラ、マカバ、メジロカバ、ザツカバ、セン、白樺 他)

北海道材針葉樹

(トドマツ、エゾマツ、カラマツ 他)

米材

(ホホワイトオーク、バースウッド 他)

ロシア材

(シナ、ナラ、タモ 他)

欧州材

(ブナ)



いのち 暮らしの生命を守る、森との共存。

森は私たちの暮らしの生命そのものです。
その森を守り、暮らしを支えていくことも私たちの大事な役割
と考えています。
滝澤ベニヤでは森の貴重な資源をいかに守り、有効に安心
して活用できるかを考え、さまざまな活動を行っています。



黄金水松(芦別市)/北海道指定文化財

安心・安全の 資源供給

原則的に合法伐採された
木材のみの使用と森を傷
めない計画的伐採。

持続性を考えた 資源活用

利用価値の薄かった間伐
材を有効活用し、無駄の
ない活用と製品の開発。

暮らしを守る 無害・安全加工

森の優しさそのままに、無
害で安全な、暮らしに優し
い製品づくり。

単板

Veneer

- 合板用単板
- インテリア用単板
- 経木用単板(スダレ)

その他楽器用、家具用単板等

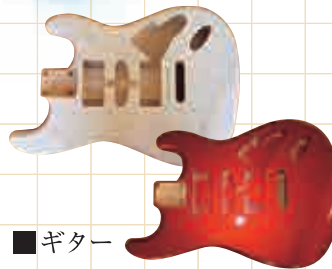
単板は同じ樹木を使用しても、一枚一枚木目、色調などが違い、加工する度にさまざまな表情を楽しむ事ができるのが特徴です。広葉樹(シナ、カバ、ナラ、イタヤ、タモ等)を主体として、表用単板をメインに原木1本より加工をしております。用途は多岐にわたり、内装材・教材・家具等表面材に利用されています。近年は針葉樹も加工しており、原木からの賃加工も承っております。

■ 製造可能寸法	[第一工場]	厚さ	0.40~4.50mm
		長さ	2.80m以下
	[第二工場]	厚さ	0.15~2.80mm
		長さ	3.15m以下
	[フリッチ加工]	厚さ	0.60~5.00mm
		幅	230mm以下
		長さ	フリー

単板の
製品使用例



■椅子
使用木材/ホワイトオーク



■ギター
使用木材/カバ
※製材の表裏に単板を使用しています。
塗装する場合には単板を貼ることできれいに
仕上げることができます。



■すだれ
使用木材/シナ

フローアー単板

Floor Veneer

- フローアー単板(ナラ、カバ 他)
- フローアー単板仕組

より快適な
空間づくりは足元から。

フローアー単板はフローアー用広葉樹ナラ、カバ、イタヤ、ブナを主に加工しており、どの木材を使用するかによってもフローアー全体の印象が大きく変わります。当社ではお客様のニーズにお応えし、各木材の特性を生かしたよりよい空間づくりをお届けしています。また、3mm、4mmの厚単板は一部製材と同じように使用されております。



■ 製造可能寸法 [富良野工場] 厚さ 0.60~5.00mm
長さ 1.00m以下



カバ



ブナ



ナラ

フローアー単板の使用例



美しくさりげなく演出する、滝澤フローアー単板。

滝澤ベニヤのフローアー単板は皆様のより良い住環境をさりげなく演出しています。



※ご紹介した使用例はほんの一例です。その他さまざまな用途にお使いいただけるフローアー単板をご用意しております。詳しくは当社までお問い合わせ下さい。

合板

Plywood

- 抜型、木型用合板
 - 家具用積層合板(シナ、カバ材 他)
 - 学校教材用合板(工作用、版画用 他)
- その他特注合板

合板は単板を複数枚重ね合わせ加工されることで、より強度が増し、幅広い使用面積を得られ、高い強度が求められる棚などの造作家具にも使用でき、用途が広がります。

当社の製品は、無害安全な「ノンホルムアルデヒド接着剤」を使用して製造しています。お客様の目的に合わせ、どんな住環境をにも安心してお使いいただけます。品質についてはお客様のご希望申しつけ下さい。

■ 製造可能寸法	厚さ	2.00~50.0mm
	幅	1.20m以下
	長さ	2.40m以下

カバ材

シナ材

「間伐材」は森と暮らしの新しいエコサイクル。

「長期循環型資源活用」により開発された「エコ合板」

永年自然環境についてのさまざまな問題が囁かれ、木材を扱う私たち業者にも暮らしと森両方を良くしていく術を求められてきました。

そこで私たち滝澤ベニヤではこれまで利用価値があまりないということで山に放置されてきた「間伐材」に注目し白樺間伐材等を使用した「エコ合板」を開発し、貴重な資源を長く、有効的に活用し、山を整備し、環境修復も図った「長期循環型資源活用」を推進しています。また広葉樹の中でも、唯一蓄積量が増加している白樺は成長も早く、計画的に伐採を行えば、半永久的に使用でき、今後それをうまく循環利用していけば、新しい資源として安定した供給が見込めます。



白樺間伐材

eco シラ合板

Shirakaba Ecology Plywood

白樺間伐材を使用したエコ合板「エコシラ合板」です。より強度が求められる棚や椅子など造作家具などに使用できます。

※道産間伐材マークの使用ができます。



森のぬくもりに彩りを添えた、カラータイプエコ合板。

2010年グッドデザイン賞受賞作品

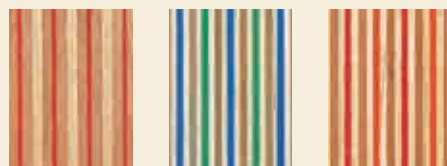
Paper Wood シリーズ

シナ・カバ材に再生紙を挟みプレスしたカラータイプのエコ合板です。これまでの合板とは違い、鮮やかに仕上げたきれいな断面を見せた使用ができるため、用途も広がり、より身近に木のぬくもりを感じさせる、木材加工が可能です。



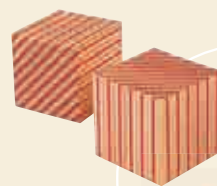
この製品の加工時電力は木材建築廃材を利用したバイオマス発電でまかっています。
BIOMASS (グリーン電力 H23/9/21~H24/9/30 1,000kWh)

Colors



紅 グリーン&ブルー オレンジ&赤

※カラーはほんの一例です。詳しくは当社までお問い合わせ下さい。



◀斜めにカットすることにより、360°の角度からも彩りが楽しめる使用ができ、オシャレな家具や小物など用途がさらに広がり、豊かな空間を演出します。

ペーパーウッドで▶
製造されたえんぴつ



※「ecoシラ合板」と「Paper Wood シリーズ」にはuni4mマークを使用することができます。

会社概要

社 名/ 滝澤ベニヤ株式会社

所 在 地/ 〒079-1396 北海道芦別市野花南町1000番地
TEL 0124-27-3111 FAX 0124-27-3113

設 立/ 昭和11年8月10日

業 種/ 木材・木製品製造業(家具を除く)

事 業 内 容/ 合板・単板製造、商材

資 本 金/ 4500万円

代 表 者/ 代表取締役社長 瀧澤貴弘

社 員 数/ 55名

取 引 銀 行/ 北洋銀行 芦別支店、北海道銀行 芦別支店、
北門信用金庫 芦別支店

- 1936年 8月10日 現在地芦別市野花南町1000番地に、滝澤ベニヤ工場創立操業開始
- 1943年 愛国第170工場に指定され、海軍航空機用ベニヤ単板を製造する
- 1947年 9月 合板工場を新設し、合板製造を開始
- 1948年 4月 火力乾燥場より出火。乾燥場、合板工場及び倉庫を焼失する。単板工場のみ火災をまぬがれる
- 1955年 3月 9尺ロータリーレース、自動クリッパー、グラインダー、ドライヤーを増設し、輸出入単板を製造開始
- 1960年 東京芝浦電気工業の指定工場として、テレビキャビネット用単板製造
- 1961年12月28日 個人経営を解消し、法人組織に改め、滝澤ベニヤ株式会社とし、資本金は300万円とする
- 1964年 6月 富良野市西扇山2の土地3,000坪を購入し単板工場を建設
- 1965年 4月 滝澤ベニヤ株式会社富良野工場操業開始
- 10月 旭川市豊岡4条4丁目、旭川特殊合板(株)より土地建物機械一式を買い取り、滝澤ベニヤ株式会社旭川工場として操業開始する
- 11月20日 野花南(本社)工場ボイラー室より出火、倉庫を残して全焼する
- 1966年 3月10日 本社工場落成と創業30周年記念式典を挙る
- 7月25日 300万円を増資し、資本金を600万円とする
- 1968年 4月30日 300万円を増資し、資本金を900万円とする

工場・支店

【旭川工場】

〒071-1426 北海道上川郡東川町北町9丁目2番9号
 TEL 0166-82-2271 FAX 0166-82-4684
 JAS認定工場 JPIC-PW58

敷地建物・面積/ 本 社

敷地面積 22,500㎡
 建物面積 4,718㎡

【富良野工場】

〒076-0006 北海道富良野市西扇山2
 TEL 0167-22-3267 FAX 0167-22-5770

旭川工場
 敷地面積 4,939㎡
 建物面積 1,594㎡

【札幌支店】

〒062-0933 札幌市豊平区平岸3条7-1-27 平岸スクエアビル4F 275号室
 TEL 011-887-0145 FAX 011-887-0145

富良野工場
 敷地面積 10,360㎡
 建物面積 2,694㎡

1972

- 1972年 3月 野花南町999番地にハーフ工場を新設
- 7月 10尺ハーフロータリーレース、グラインダーを新設し、ハーフ工場の操業開始
- 1973年 1月10日 300万円増資し、資本金を1,200万円とする
- 12月 上川郡東川町西8号北1の土地1,500坪を旭川工場移転用地として購入する
- 1974年 3月30日 600万円を増資し、資本金を1,800万円とする
- 1976年 3月31日 2,700万円を増資し、資本金4,500万円とする。同時に従業員持株制をとる
- 4月 旭川工場移転計画に従い、東川町にて工場建設工事中
- 7月11日 旭川工場落成式と創業40周年記念式典を挙げる
- 1986年 9月23日 会社創業50周年式典を挙げる
- 1987年 8月 旭川工場倉庫新設
- 1989年 9月 本社工場倉庫新設
- 1996年10月25日 会社創業60周年記念式典を挙げる
- 2005年12月1日 札幌支店開設
- 2006年 木材産地証明工場登録(富良野)
- 10月3日 合法性木材供給事業認定
- 10月28日 会社創業70周年記念式典を挙げる
- 2007年10月 造材部設置



<http://www.takizawaveneer.co.jp/>

TAKIZAWA VENEER



滝澤ベニヤ株式会社

〒079-1396 北海道芦別市野花南町1000番地 TEL.0124-27-3111 FAX.0124-27-3113